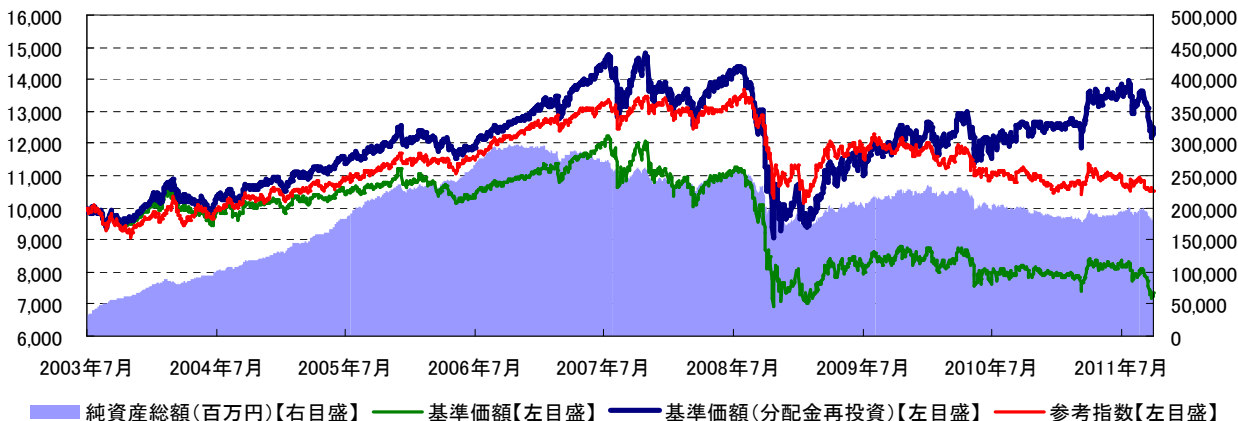


## 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】 直近の市況動向について

追加型投信／内外／債券

### 運用状況等

#### 基準価額の推移 (期間:2003年7月9日～2011年10月7日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.155%(税抜1.1%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもものとして計算しています。

参考指数はシティグループ世界国債インデックス(除く日本・円ベース)です。  
シティグループ世界国債インデックス(除く日本・円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

#### 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-7.59%	-8.76%	-8.03%	-1.45%	11.18%	25.07%
参考指数	-2.94%	-4.26%	-7.58%	-6.67%	-12.13%	5.24%
差	-4.64%	-4.49%	-0.45%	5.22%	23.30%	19.83%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

#### 分配金実績 (税引前)

設定来累計					
4,941 円					
第98期 (11/09/20)	第97期 (11/08/22)	第96期 (11/07/20)	第95期 (11/06/20)	第94期 (11/05/20)	第93期 (11/04/20)
65 円	65 円	65 円	65 円	65 円	60 円
第92期 (11/03/22)	第91期 (11/02/21)	第90期 (11/01/20)	第89期 (10/12/20)	第88期 (10/11/22)	第87期 (10/10/20)
60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円
第86期 (10/09/21)	第85期 (10/08/20)	第84期 (10/07/20)	第83期 (10/06/21)	第82期 (10/05/20)	第81期 (10/04/20)
60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円
第80期 (10/03/23)	第79期 (10/02/22)	第78期 (10/01/20)	第77期 (09/12/21)	第76期 (09/11/20)	第75期 (09/10/20)
60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円
第74期 (09/09/24)	第73期 (09/08/20)	第72期 (09/07/21)	第71期 (09/06/22)	第70期 (09/05/20)	第69期 (09/04/20)
60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円
第68期 (09/03/23)	第67期 (09/02/20)	第66期 (09/01/20)	第65期 (08/12/22)	第64期 (08/11/20)	第63期 (08/10/20)
60 円	60 円	60 円	60 円	60 円	60 円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。■基準価額および分配金は1万円当たりです。■債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

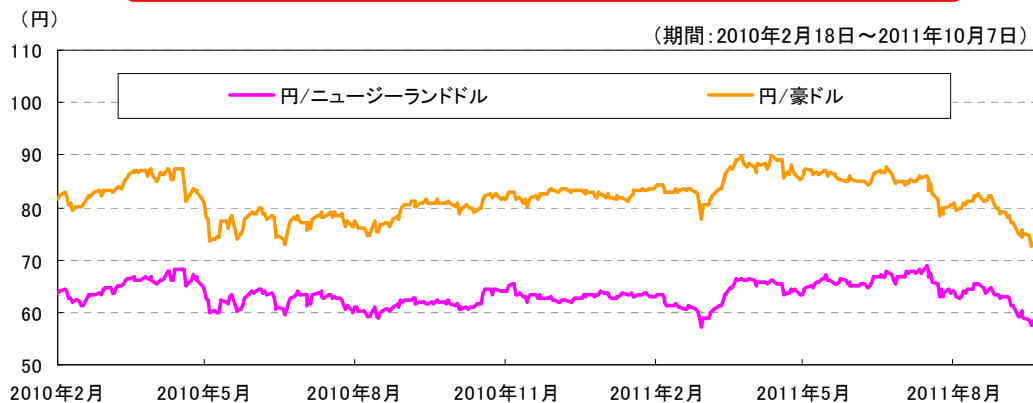
※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご覧ください。

## 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】 直近の市況動向について

### (世界の投資環境とオセアニアの市況動向等)

ギリシャをはじめとする欧州財政問題が表面化して以降、世界的に「信用力」に注目が集まっています。問題の発端となったギリシャは自力で資金調達することが困難となり、緊縮財政を条件にEU(欧州連合)やIMF(国際通貨基金)から金融支援を受けることになりましたが、ギリシャの財政健全化は計画通りに進んでいません。また、EUやIMF、ECB(欧州中央銀行)による金融支援についても、支援を行う側の国々の足並みがあまり揃っておらず、先行きが不透明な状況にあります。そのため、為替市場では、高金利通貨を中心に対円で下落する傾向が見られました。一方、債券市場では、ギリシャ等ユーロ圏で信用力の低い国の債券や、相対的にリスクの高い新興国の債券が売られ、豪州やニュージーランドの債券は相対的な信用力の高さから買われる展開となりました。

### 為替相場の推移

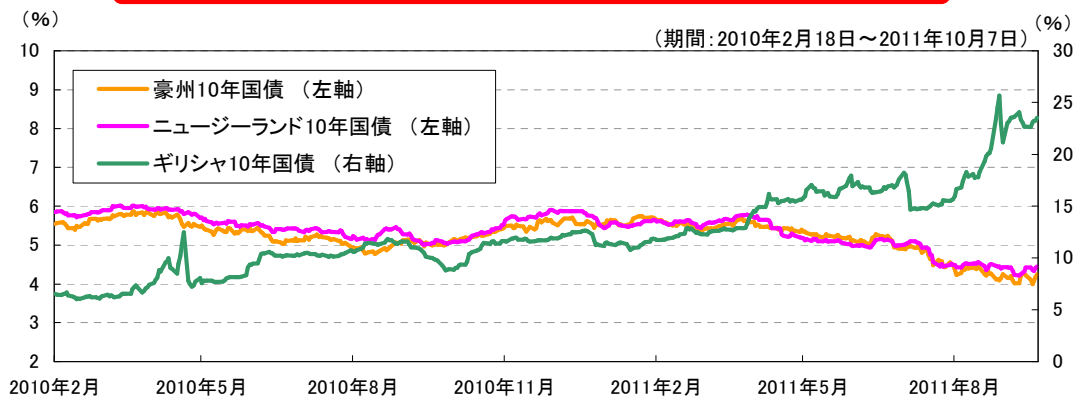


(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

9月に入り、外国為替市場では、新興国通貨を中心に対円で大幅な下落(円高)がみられました。豪ドルやニュージーランドドルも対円で下落する展開となりましたが、その後は落ち着きを取り戻しています。こうした動きの背景には、欧州財政問題の深刻化を懸念した投資家のリスク回避的な動きがあります。

一般的に、「信用力」が回復する局面においては、リターンに目が向く(投資家のリスク許容度が高まる)ため、高金利通貨が買われる傾向にあります。一方、「信用力」が悪化する局面においては、「安全だから低金利」「危ないから高金利」という図式となり、高金利通貨が売られる傾向があります。換言すると、「信用力」に問題がなく高金利通貨に資金が流れるような局面では、金利差が大きな意味を持つのですが、一度「信用力」が悪化すると、資金は逆流し低金利通貨に戻るとも言えます。

### 各国の長期金利(10年国債)の推移



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。  
 ・本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

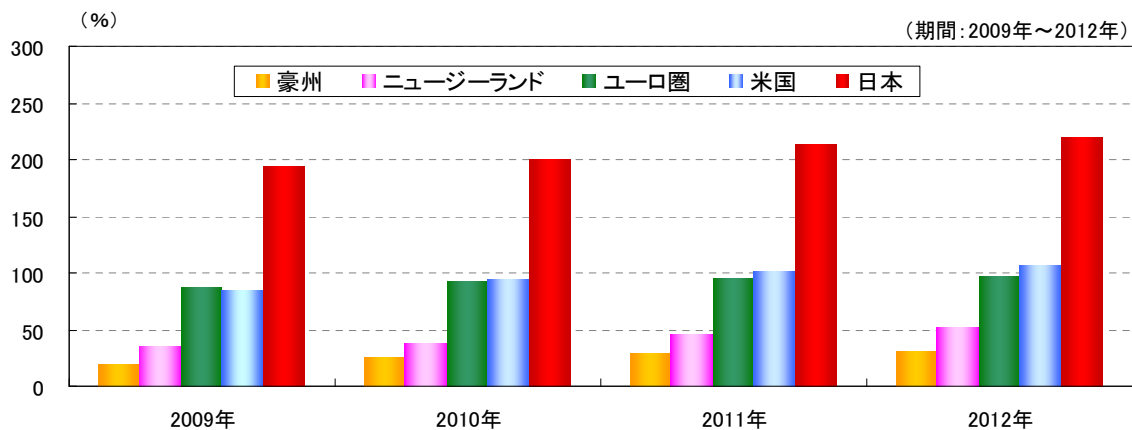
※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご覧ください。

## 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】 直近の市況動向について

### (今後の見通し)

高金利通貨である豪ドルやニュージーランドドルは大幅に下落しましたが、その間における豪州金利、ニュージーランド金利は共に低下(債券価格上昇)基調となっており、両国自体の理由で売られたわけではないことがわかります。財政問題に市場の焦点が当たる中、最上位の格付けを有する豪州は、その健全な財政状態や金利水準から選好されてきました。ニュージーランドについては、9月29日に、大手格付会社2社から格下げされましたが、今後の見通しは共に「安定的」であるほか、米国の大手格付会社ムーディーズは最上位の格付けを維持しており、「信用力」が引き続き高い状態であることに変わりはありません。また、ニュージーランド政府は2014/15年度の黒字化をめざして財政収支の改善に取り組んでいることから、政府財政の堅調さが今後の対外純債務に関連するリスクを緩和すると考えています。

### 各国の政府債務残高(対名目GDP比)



・2011年以降はOECD予測です。

・各国の公的債務は国によって定義や計算方法が異なるため、一概に比較することはできません。

(出所)OECDのデータより三菱UFJ投信作成

足元の豪州経済はやや軟調に推移していますが、世界的な需要に応えるため、今後も鉱物・エネルギー開発事業への投資が継続すると考えられます。こうした鉱業部門の拡大は、公益、運輸、ビジネスサービス等の他部門にも恩恵を与えることから、それが顕在化するにつれて豪州経済は回復すると考えています。一方、ニュージーランド経済は、2010年9月、2011年2月と大地震に見舞われたにもかかわらず、今年に入って底堅い推移を続けています。ニュージーランドも豪州同様、世界的な需要に応え、輸出が拡大する可能性が高いため、経常収支が急速に悪化する可能性は低く、同国の信用力は維持されると考えています。

主要各国で金融緩和政策が継続し、金利水準が容易に上がらない状況を考慮すると、豪州やニュージーランドは相対的に財政状態が健全であることから、今後も選好される投資先のひとつになると考えています。また、両国ともに各国中央銀行の外貨準備の分散先としても注目されています。

為替については、豪ドル、ニュージーランドドルはともに国際金融市場が一定の落ち着きを取り戻すまでは、不安定な動きになると考えています。しかし、中長期的に見ると、両国経済を取り巻く環境と健全な財政状態等から、豪ドル、ニュージーランドドルは底堅く推移すると考えています。

・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。  
 ・本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご覧ください。

**三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】**
**ファンドの目的・特色**
**■ファンドの目的**

世界主要国の債券を実質的な主要投資対象とし、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。

**■ファンドの特色**

- ・主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。
- ・実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。
- ・毎月の分配をめざします。

**<主な投資制限>**

- ・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

**投資リスク**
**■基準価額の変動要因**

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**市場リスク**
**(価格変動リスク)**

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**(為替変動リスク)**

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**■その他の留意点**

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

**■リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 (社)投資信託協会  
 (社)日本証券投資顧問業協会

**三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】**
**手続・手数料等**
**■お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	毎年復活祭(Easter Day)に該当する日の前営業日および翌営業日、毎年クリスマス(12月25日)および翌営業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は4月22日、4月25日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2003年7月9日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**■ファンドの費用・税金**
**・ファンドの費用**
**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	
購入時手数料	購入価額×2.1%(税抜2%)(上限) 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額×年1.155%(税抜年1.1%)
その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**・税金**

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**  
受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



**販売会社情報一覧表**

ファンド名称: 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会／社団法人金融先物取引業協会
株式会社 清水銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第6号	日本証券業協会
株式会社 ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	日本証券業協会／社団法人金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会／社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／社団法人日本証券投資顧問業協会／ 社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会／社団法人金融先物取引業協会